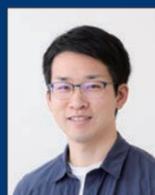


## 希望分野で活躍する先輩たちの声 私がエレックス工業を選んだ理由。



宇宙関連の企業に絞って多くの会社説明会に参加しましたが、エレックス工業には突然回路を見せられ、しかも個人の裁量で仕事ができると聞き驚きました。大手企業での回路設計の仕事は、その一部分にしか携われなと思っていただけに衝撃的でした。イチから自分で複雑な回路を作るのが夢だったので、現在は充実した時間を過ごしています。

K.H 技術部



「天文」のキーワードの検索から就職活動を始め、大手企業をメインにスタートしましたが、自分がそのどこで働くのか具体的にイメージできず中小企業も視野に入れました。下請けが多い中小企業ですが、エレックス工業は自社開発をしていたのが入社決め手。自分の力で装置を完成させたいと考えていたので、やりたいことが思う存分発揮できる環境にはとても満足しています。

H.Y 技術部 博士(工学)



母校の出身者がいることで、エレックス工業に興味を持ちました。ホームページや新卒求人サイトを詳しく見ると、広い分野において回路・プログラミング・筐体と担当領域も多く、最先端技術によって他にない高度な提案を実現していることがわかりました。これからは有意義な経験を積んで、自分の可能性をどんどん広げていきたいですね。

U.K 技術部



回路とプログラミングにフォーカスして会社を探し、エレックス工業を知ったのは大学の求人票と新卒求人サイトから。モノづくりが自分一人できそうだと感じ、実際に今では基板も一人でつくれるようになりました。研究機関向けの高度な技術を持つ会社なので、いつもチャレンジできて働きがいも大きいです。

E.K 技術部



大学時代に VERA 観測機の手伝いに携わっている頃、当社の装置が運用されていたことからエレックス工業の社名は知っていました。とにかく宇宙を仕事にしたいと大手の宇宙関係企業も検討しましたが、遠回りしないですぐに宇宙の仕事に関わると直感した入社の選択は正解でした。

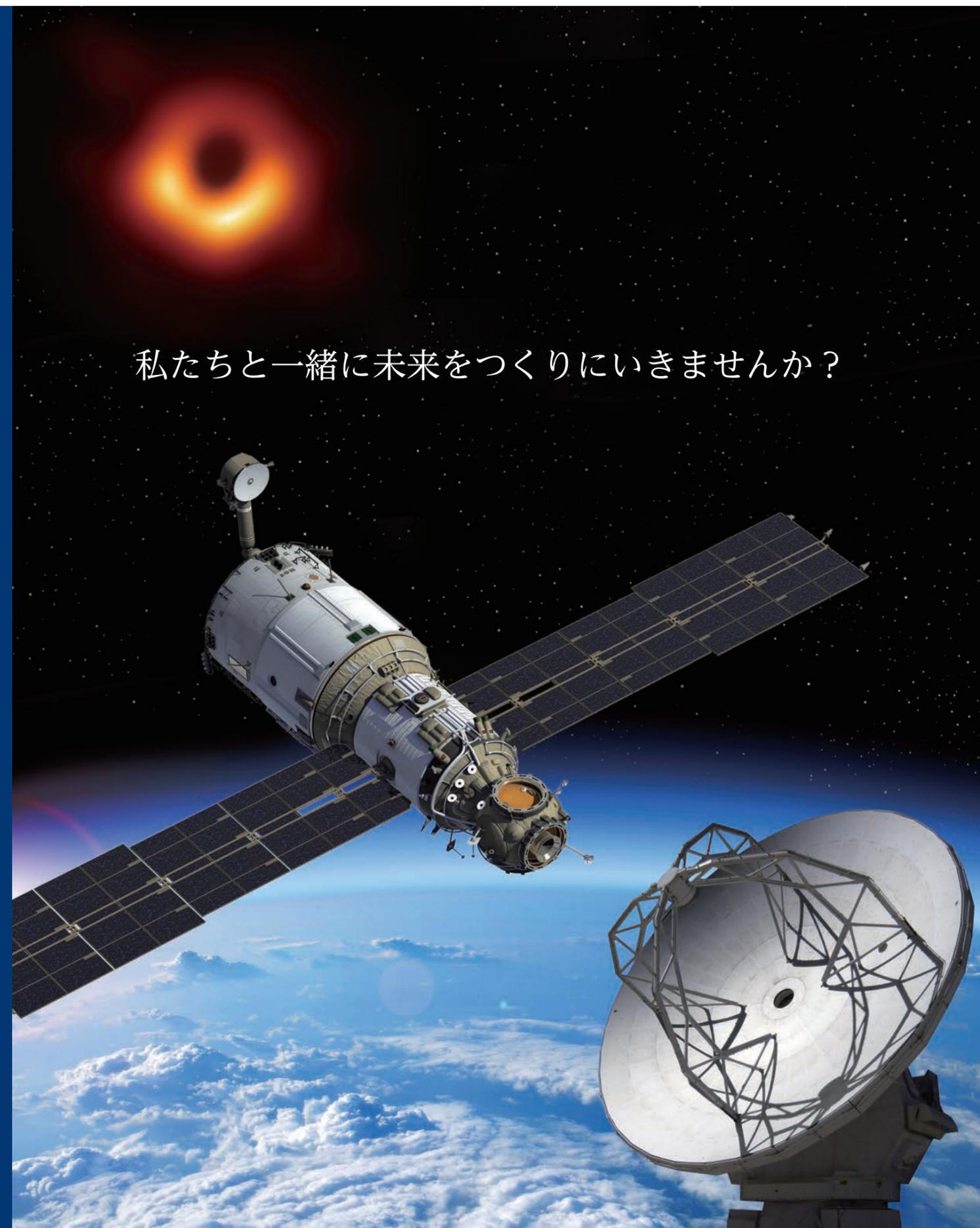
I.T 技術部



学生時代から天文の研究を続けており、将来は天文関係に進みたいと決めていました。エレックス工業を知ったのは、新卒求人サイト経由で見た観測写真によって、仕事内容への具体的なイメージが湧いたのがきっかけです。大学時代の経験はプログラミングだけだったので、天文はもちろん知識を広げて防災分野などにもスキルアップできる点に大きな魅力を感じています。

F.M 技術部

私たちと一緒に未来をつくりにいきませんか？



私たちエレックス工業は、地球科学・自然科学の歴史的な進歩に大きく貢献しています。



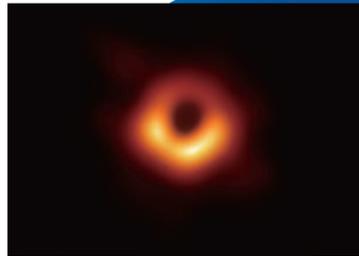
## What's Next?

世界に最先端テクノロジーを発信する技術者集団 ELECS は、常に次のステージを見つめています。

### 2019/2022年

世界初・ブラックホール写真撮影成功!!  
エレックス工業製「ALMA 光多重伝送装置」が貢献

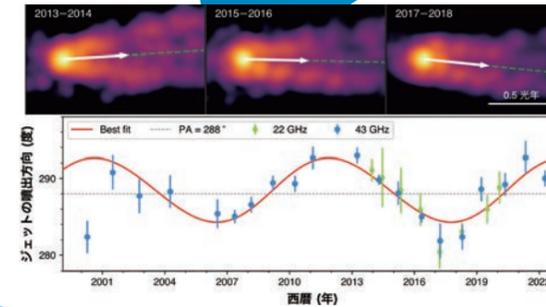
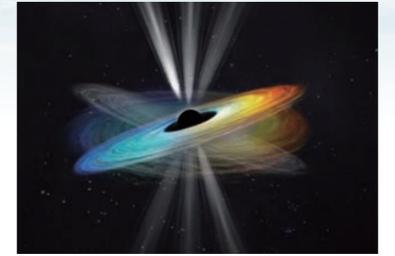
国立天文台などが参加する国際チーム EHT(イベント・ホライズン・テレスコープ)が、地球から5500万光年離れた楕円銀河 M87 の中心部にあるブラックホールを世界で初めて撮影。巨大ブラックホールとその影の存在を、初めて画像で直接証明したことを発表しました。観測には世界8か所の電波望遠鏡が使われ、エレックス工業ではそれらの観測データを送受信する「ALMA 光多重伝送装置」によって撮影を支え、ノーベル賞級と評される歴史的快挙に貢献しました。



### 2023年

世界初・M87 ブラックホール「自転」の証拠を発見!!  
エレックス工業製「VERA」[JVN][KVN] システムが貢献

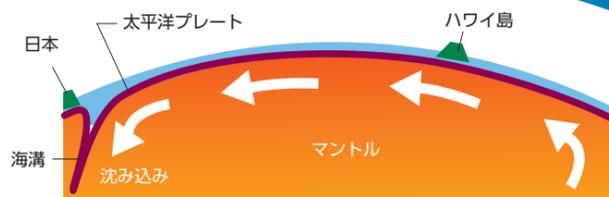
EHT-Japan のメンバーが中心の国際研究チームが、VLBI ネットワークなどの観測装置を用いて楕円銀河 M87 の中心部から噴出する「ジェット」と呼ばれるガスの運動を観測。その方向が、周期的に首振り運動をしていることを発見しました。これは M87 の巨大ブラックホールの自転を示すとともに、強力なジェットの発生にブラックホールの自転が深く関与していることを裏付けるものです。この銀河の形成や進化の歴史を解明する手がかりとなる発見には、弊社が観測装置を提供している「VERA」[JVN][KVN] 各システムが貢献しています。



### 1984年

世界初・プレート運動を実証!!  
エレックス工業製「K-3 相関器」が貢献

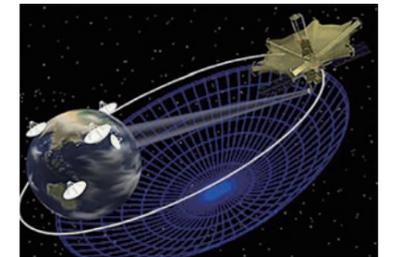
地球の全表面を覆う岩盤(プレート)が移動するという、それまでの地球構造のメカニズムの考え方を革命的に変えた「プレートテクトニクス」理論の実証に、国産初の弊社「K-3 相関器」が大きな役割を果たしました。複数箇所から集められた、電波望遠鏡データを分析・合成することで観測像を形成。これによって地上における自然現象の過程などが説明できるようになり、新たな地球観を常識にしてその後の地球科学の発展に大きく寄与しました。



### 1997年

世界初・スペース VLBI 衛星「はるか」打ち上げ!!

エレックス工業製「実時間相関器」「相関器時系制御装置」「簡易型相関器」が貢献  
後のブラックホール撮影に至るプロセスでは、直接撮影によって謎を解明するために、長期間に渡り VLBI(超長基線電波干渉計)を使ったさまざまな望遠鏡で観測が行われました。1997年に打ち上げられた VLBI 衛星「はるか」は、地上の望遠鏡と組み合わせて高解像度を備えた直径約30,000kmの望遠鏡を実現して楕円銀河 M87 を観測。ブラックホールの中心に迫る電波天文衛星のデータ解析装置など、そこでは弊社「実時間相関器」「相関器時系制御装置」「簡易型相関器」が活躍しています。



宇宙が舞台のモノづくりを通じて、自分もスキルもバージョン・アップ。



日本国土防衛の要となる防災行政無線システムの開発を行なっています。いつ来るかわからない災害や緊急事態に、いかなる状況でも稼働しなくてはならないため、極めて信頼性の高い製品づくりが求められます。



わずか5.7mm×9.0mmという指の先に乗ってしまう超小型のモジュールに、驚異の機能が詰まっています。7種のセンシングを同時に行い、Bluetoothでクラウドやスマホなどにデータを送ります。IoTの業界で非常に高い知名度を誇っています。



電波天文観測に使用する VLBI 相関器は、非常に高速な相関処理を行います。東アジア VLBI という直径5,500kmにも及ぶ大きさの電波望遠鏡でも弊社の相関器が全面採用されており、ブラックホール撮影においても活躍しています。



マイクロ波ハイパースペクトル放射計といい、超高帯域の微弱な電磁波を捉えることができます。世界 No.1 の性能を持ち、線状降水帯の予測や交通網のナビゲーションなど多種多様な場面で活躍します。そして、宇宙空間でも。